

会議録

会議の名称	令和5年度 第4回加西市総合政策審議会
開催日時	令和5年10月17日（火）午後1時から午後3時30分まで
開催場所	加西市役所 1階 多目的ホール
議長の名（会長 和田 真理子）	
出席及び欠席委員の名	
<出席委員> ・荒木 努 ・上田尾 真 ・大西 昇 ・大野 聖佳 ・岡田 美香 ・金田 敏秀 ・辻田 聡信 ・中野 重美 ・濱本 泰秀 ・樋口 真史 ・松本 壽泰 ・山下 光昭 ・和田 真理子	
<欠席委員> ・谷勝 公代 ・別府 浩二	
傍聴者の人数	
一般：なし 報道機関：なし	
出席した事務局職員の名及びその職名	
・政策部長 藤後 靖 ・政策部政策課長 柿本 尚一 ・政策部政策課 課長補佐 高橋 知弘 ・政策部政策課 係長 岩野 裕之 ・政策部政策課 主任 千種 健史 ・政策部政策課 主任 垣谷 直宏 ・政策部政策課 主任 牛尾 充宏 ・政策部政策課 まちづくり推進員 小山 映	
1 議事	
(1) 全体協議 一部会報告一 (2) 第6次加西市総合計画（実施計画）における評価・検証結果への対応について (3) 加西市行財政改革プラン（素案）について	
2 会議資料	
会議次第、出席者名簿、配席図 資料1～3	
3 会議の経過	
⇒別紙「第4回加西市総合政策審議会の経過」のとおり	

(別紙) 第4回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>開会</p> <p>1 会長挨拶 本日は第4回目の審議会ということで、これまでの議論の締めにあたる。これまで熱心に議論いただいた内容のとりまとめ作業となるので、今一度熱心な議論をしていただきたい。また、本日は締めに相応しく、市長にもお越しいただいている。みなさんどうぞよろしくお願いした。</p> <p>2 委員等出席者紹介</p> <p>3 市長挨拶 本日はお忙しい中、審議会にご出席いただき、また、これまでも熱心な議論をしていただき感謝申し上げます。皆様からのご意見、ご提言については今後の施策に反映させていただくと同時に、今後予定している事業実施計画、予算編成においても十分取りいれて、新たな方向性として取り上げていきたい。これまでの審議において、「市長が交代し、今後の施策展開がどうなっていくのか」という疑問が寄せられていると伺ったので、少し説明をさせていただきます。また、総合計画についての私の考え、そして、6月議会で述べた施政方針、それらについても説明させていただきます。</p> <p>まず、総合計画の基本構想については10年という期間で策定され、それに基づく基本計画は5年となっており、丁度来年度見直し年となっている。実施計画の期間は3年となっているが、こちらは毎年見直しを行うべきものと考えており、これまでもそのような方針であったと理解している。</p> <p>そのため、審議会の在り方や審議会と市長の関係というのは、これまでと何ら変わるものではない。争点があった事業については変更すべきと考えるが、あくまで総合計画としては、市民の生活が大きく変わるものではなく、目指す方向は、市長が誰であっても大きく変わるものではない。(前市長は)「5万人都市の再生」というテーマを掲げられていたが、現行の総合計画はそれを明確にした施策展開にはなっておらず、いわばスローガンのなものであり、その点についても支障はないと考えている。実施計画は3年間で見直しとなっているが、これについては毎年見直しを行うこととしている。そのための審議会であり、この審議会の意見・提言は当然取り入れるべきものであると考えている。タウンミーティングの意見なども聴きながら総合的に事業展開していく。</p> <p>また、就任時に施政方針を議会で表明させていただいたが、それについても総合計画に基づいた内容となっており、かけ離れた施政方針というのは考えられない。その中から柱を5つにまとめており、1つは「子育てしたいまち、学びたいまち」、2つめは「くらしを支える福祉・医療の充実」、3つめは「活力とにぎわいのあるまちづくり」、4つめは「快適に暮らせるまちづくり」、5つめは「市民に寄り添った行政の推進」とし、誰一人取り残されない市政の実現を目指しているが、これも総合計画の基本計画の内容をまとめた形になっている。</p> <p>審議いただく中で、病院問題と学校再編については、みなさんの関心が高くなっていることと理解している。まず、病院については、工事中の患者の動向や、今後の経営状況も踏まえ、手狭な駐車場、割高となっている工事費、そして騒音問題等も踏まえ、現在の場所ではなく平地に建設し、メディカルタウンといった医療を核とした賑わいづくりも含め検討を行うとともに、用地取得を進めていく。</p> <p>また、学校再編については、もう一度保護者や地域の声を聴き、アンケート調査なども行い、来年1月に市の案を示しながら方向を定めて進めていきたいと考えている。</p> <p>繰り返しになるが、市民の意見、審議会の提言をしっかり反映させながら、市政運営に当たりたいと考えているのでよろしくお願いしたい。</p> <p>(市長退席)</p> <p>4 議事 (1) 部会報告 ※外部評価については、別紙『第6次加西市総合計画(実施計画)政策評価シート』に記載。本議事録では外部評価が内部評価と異なっており、部会長より補足説明があったもののみを記載する。</p>

委員	<p>部会① 政策1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実 施策②については、内部評価がC評価となっていたが、外部評価ではB評価とした。子育てプロモーションの頑張り、学童保育の充実、給食の無償化などをはじめとした子育て支援の充実を評価した。</p> <p>政策4 くらしを支える福祉・医療の充実 施策⑫については、内部評価がB評価となっていたが、外部評価ではC評価とした。産婦人科医の確保をはじめ、医師会との連携を強化してもらいたいという意見が出された。</p> <p>政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現 施策⑮については、内部評価がC評価となっていたが、外部評価ではB評価とした。多文化共生の推進について、新型コロナウイルス感染症の影響で内容に変更が生じたとのことであるが、事業への取組状況や、soraかさの来館者数の伸びなどを総合的に判断し、B評価としている。</p>
副会長	<p>部会② 政策5 農業の再生と活性化 施策⑮については、内部評価Aとなっていたが、外部評価ではB評価としている。B評価となった理由については、ICTを活用したスマート農業の推進とあるが、実際のところは機械化程度にとどまっており、本当の意味でのスマート農業になっていないという意見があったためである。</p>
事務局 (委員欠席のため代理)	<p>部会③ 政策8 安全・安心に暮らせる環境の充実 施策⑲については、内部評価Bに対し、外部評価はA評価となっている。こちらは新型コロナウイルス感染症対策を評価してのものである。 施策⑳については、内部評価Aに対し、外部評価はD評価となった。D評価となった理由としては、目標に対して実施する施策が少ないという点があげられる。交通安全の推進については、現行の取組が自転車を運転する者だけを対象とした取組となっているため、歩行者、自転車、自動車といった道路を行き来するすべての者を対象に事業を行うべきであるとの意見があった。 施策㉑については、内部評価Bに対し、外部評価はC評価となった。市民相談については、地域の中で「困っている」という声が聞かれるため、そういった声に対応できるようにしてもらいたいという意見があった。また消費者問題についても、特殊詐欺など非常に巧妙化しているため、予防啓発に更に力を入れてもらいたいとの意見があった。</p>
委員	<p>施策㉒について訂正していただきたい。 「不法投棄対策について、しっかり予算を確保して取り組んでもらいたい」と報告があったが、正確には「防犯カメラの設置については、防犯対策に非常に効果的であり、不法投棄対策にも効果があるため、予算を確保して取り組んでもらいたい」という趣旨で議論したものであり、不法投棄対策として話をしたものではない。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいたとおり修正させていただきます。</p>
委員	<p>政策10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備 施策㉓については、内部評価Aに対し、外部評価はBとした。非常に経費が大きい分野であるにも関わらず、評価が甘くなっているように思われるため、しっかりと評価し、事業進捗も適切に管理するようにとの意見があった。</p>
会長	<p>各部会から報告をいただいたが、委員の皆様より意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>施策⑧播磨風土記事業についてであるが、「子ども狂言塾がなくなることは寂しいが」となっているが、正確には「子ども狂言塾への市の関りがなくなる」という表現が正確ではないのか。何が言いたいかという点、こういった事業を立ち上げるのは良いが、事業の引き継ぎ方というものをしっかり考えておいてもらいたい。この文章だけを読むと、新しいものを立ち上げ、古いものは捨てるというように捉えられかねない。いかに定着させるかが行政の努力であるべきである。</p>
事務局	<p>塾生の保護者には、支援をしていきたいという説明を行っている。具体的にどのような支援を行っていくかは今後検討していく。また風土記講座も実施しており、風土記の背景や、</p>

	<p>当時の物語などを伝える取組を行っており、一定の成果があったものと考えている。 ご指摘いただいた表現については修正をさせていただく。</p>
委員	<p>子ども狂言塾はなくなるのか。市長が加西能について取りやめるといわれているため、それに合わせて子ども狂言塾もなくなるものと理解していた。</p>
事務局	<p>市が支援を行い主導していたものを一旦ストップしようという話である。子ども狂言塾に携わっている方の機運が高まって、違う主体が行う可能性があれば、伝統文化の継承ということで支援を行いたいと考えている。</p>
委員	<p>部会報告については報告いただいた内容で結構であるが、KPIについて意見を述べさせていただきたい。KPIを基に審議を行うので、KPIの設定は非常に重要であると考えているが、政策、施策を評価するにあたり適切ではないKPIが設定されているように見受けられるケースがあった。例えば、政策8、施策⑳であれば「交通事故の発生件数」というKPIが設定されているが、目標として掲げられるものではなく、政策的にどうしようというものでもない。予算の執行割合で100%（道路など）になるなど、中には高評価を得るためのKPI設定になっているように感じられるものもあった。5年間の目標に対し、トータルで考えて今年度はC評価というのもおかしい。来年度の審議会で審議する際には、評価するにあたって適切なKPIを示してもらいたい。</p>
会長	<p>先ほどの意見については、他部会でも議論されたことではないかと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>事務局では100%を大きく上回っているもの見直しなど、委員の皆様からいただいたKPIに関する意見も集約しており、次年度の審議会開催時にはKPIを修正してお示しできるようにしたいと考えている。</p>
会長	<p>KPIについては、これから再検討されるということであるが、追加でご意見があれば伺いたいがいかがか。（意見無し）。 それでは、事務局でよく検討していただき、次年度の審議会でご提案いただければと思う。</p>
委員	<p>部会の際に欠席していたため、この場をお借りして意見を述べさせていただきたい。私自身も農業をしており、市に支援していただいている。今回の施策を見ていると、農産物の生産向上に力を入れていただいているが、販路拡大についても取り組んでもらいたい。最盛期には商品が余ってしまうのが現状であり、余って売れなければ価値も落ちてしまう。市外で販売しようとしてもネームバリューが弱い。新規就農者にも聞いてみたが、市内だけで販売しては値崩れしてしまい採算が取れない状況になっていた。 生産者を増やすことも重要であるが、販路拡大についても大切なことであり、加西の名前が売れる工夫が必要なので生産者の立場から支援をお願いしたい。</p>
会長	<p>確かに産業振興というと生産者拡大になっていたが、販路拡大も重要な課題であると再認識させられた。この点について事務局の方から何かコメントをいただきたいがいかがか。</p>
事務局	<p>農業については、委員の仰られたように、販路開拓も非常に重要であると認識している。販売チャンネルを沢山持つということも個々の農家さんで努力されているところであり、我々もJAと連携してということであるが、ブランディングも含め取り組んでまいります。</p>
委員	<p>市役所で農業といえば農政課になるのかもしれないが、販路拡大やブランディング、6次産業化などについては、商工会議所の話になるように思うので、産業課などが担当になるのではないか。</p>
事務局	<p>JAと商工会議所、それから産業課でブランド協議会を立ち上げて、加西市のブランディングに取り組んでいる。</p>
委員	<p>ブランド化だけでなく、流通ルート開拓など取り組みが必要な事項は様々である。農業者だけでは難しいので支援を求められているわけであり、それらは農政課だけで支援することは難しいのではないかと申し上げている。</p>
事務局	<p>まずは農政課と連携しながら、その後、他部署、他機関とも幅広く連携し、必要な支援が</p>

	届けられるように検討してまいりたい。
委員	新聞社でも宅配を行っている。販売店によってはお米を販売しているケースなども存在する。取扱いが可能か、宅配が可能かは分からないが、それらを販路として活用できるか相談していただければ思う。
副会長	今回の問題の一番のポイントは、本来こういった現場の事業者の悩みを、行政が事前に把握しておかなければならないということである。それに対して有効な対策の有無は別にして、把握した課題に対して政策を立案するという流れになっていないことに行政としての問題点があるように感じる。 また、会議所という立場で言うと、農業生産者も商工に含まれるものである。我々も、ブランド協議会にて、ブランド力を高めるための取組を行っているが、販売ルートの開拓も改めて取り組んでいきたい。例えば、人気トースターと市内トマトのコラボなど、市内産業の連携など、総合戦略を考えていきたい。
会長	かつてはJAオンリーだったものが、現在は様々な販路が生まれてきている。交通と結びついた取組などもある。行政には幅広いアプローチをお願いしたい。
委員	施策⑩について。ふるさと納税については、地域の産業を応援する制度であり、寄附受入の拡大は、地域の努力が結実したものとも言える。もう少し高く評価してもよいのではないか。
委員	ふるさと納税については、制度が変われば税収が下がってしまう不安定な財源であり、これに頼りすぎると後々のことを考えると危険ではないかと思う。 また、行財政改革プランによれば、税収は確かに増えているが、一方でコストもかかっている。ふるさと納税を念頭においたプラン作成は危険であるように思うし、ふるさと納税による税収を一般財源に繰り入れて考えていくのは本来の趣旨を離れているように感じる。 ふるさと納税による税収増は喜ばしいことではあるが、委員の仰られたような、ふるさと納税を前提とした市政運営には賛成できない。
委員	その時々々の制度を活用して自主財源を確保するという努力は必要である。目標よりも上回る、下回るというのはあると思うが、目標を高く掲げておくというのは大事ではないか。
会長	ふるさと納税が好調であるということは共通認識であるということかと思うが、それをどう評価するかという点については相違があるようだ。総合評価については賛否があるため、個人的には現状のB評価を維持するという点でよいと思うが、部会長として参加された委員はどのように思われるか。
委員	こちらについては、ふるさと納税だけではなく、シティプロモーションや観光資源の発掘なども含め総合的に評価してB評価となっているため、そのままよいと考える。
会長	ふるさと納税の現状については、高く評価をしつつ、総合的に評価を行いB評価といことにさせていただきたい。
委員	地域主体型交通についてお尋ねしたい。富田地区においても地域主体型交通がスタートしている。先日地区の説明会に参加したところ、無料期間も含めどれだけ乗車されているかの報告があった。南北ルートがあるが、特に北ルートについて、かなり乗車人数が少なく、1か月に数人しか乗車していないと聞いた。また報告は延べ人数であったが、実数を確認するとヘビーユーザーがほとんどを占めているということだった。 こうした状況をみていると、事業の現状把握と検証を欠いているように感じる。もう少し検証できる仕組みづくりが必要ではないか。一度地域が主体となったかたちで事業がスタートしてしまうと見直しが難しいと思う。
事務局	富田地区は、運行開始してから3か月あまりという状況であるが、富田地区に限らず、地域主体型交通は運行開始当初は乗車人数が少ない。周知不足、乗車に対する遠慮などがあることが予想され、時間の経過とともに乗車人数は増えていくのではないかと考えている。 また、評価については、経済性評価、公共性評価といった指標により実施していく必要性を認識しており、今年度地域主体型交通の運営の手引きを作成し、運営の手法についてお示しするとともに、職員も地域の方とよりよい運営ができるように月1回程度話し合いを行っている。

会長	<p>交通は定着するまでに時間がかかり、運営も難しいところはあるが、検証は大事なことである。データの活用なども含め、しっかり取り組んでいただきたい。</p> <p>(2) 第6次加西市総合計画(実施計画)における評価・検証結果への対応について事務局より、資料2に基づき説明。</p>
委員	<p>2点ほど申し上げたい。</p> <p>まず1点目であるが、不法投棄対策についても予算を確保してもらいたいという思いはある。ただ、基本的には地権者が片付けなければならないものであり、民有地である場合は市として対策は出来ないという状況がある。また、産業廃棄物の不法投棄については県の管轄となるため、対応についても県に相談するように言われるが、県で不法投棄の対策をしているわけではないので、私有地になれば地権者が処理しなければならない。市内には私有地への産業廃棄物の不法投棄も多量にあるので、それらを処理するために土地所有者への補助金を出すとか、何かしら処理を行う方法を示していただくなどの対応をお願いしたいという意図で申し上げた。</p> <p>次に2点目であるが、防犯カメラは、交通安全にも効果的である他、不法投棄防止にも効果的であるため、予算をしっかりと確保していただきたいという要望を申し上げたい。</p>
委員	<p>市がやってくれる、市におまかせ体制ではなく、市民も一緒にやるというのが本旨であるように思う。政策、施策は市民のためのものである。すべての施策に関わっていく人は少ないが、自分が関わっている施策への声が重要なのかなと思う。先ほど話でいうなら、市民として不法投棄をさせない、という体制にもっていくことが長い目でみれば有効なのかなと私は思う。市が手を差し伸べるところは手を差し伸べる、市民が頑張るところは頑張るというあり方がいいのではないか。</p>
会長	<p>非常に重要なご指摘ではないかと思う。</p>
委員	<p>施策⑫であるが、加西病院への紹介率の分母は何になるのか。開業医からの紹介ということかと理解しているが、分母は何になっているのか。</p>
事務局	<p>救急はどうか分からないが、受診患者に対する割合となっている。</p>
本委員	<p>初診患者が分母になっているのではないか。目標となる50%とは、例えば1日50人初診患者がいた際に、25人は開業医から加西病院への紹介状を出されて受診した者、残りは紹介状無しで加西病院を受診した者ということではないか。</p>
会長	<p>事務局として把握されているか。</p>
事務局	<p>言葉の定義としては、先ほど委員が仰られたことになる。</p> <p>(3) 加西市行財政改革プラン(素案)について事務局より、加西市行財政改革プラン(素案)に基づき説明。</p>
委員	<p>2点ほど述べたい。まず1点目であるが、ふるさと納税については、先ほど申し上げた通り、来年度30億円と計画を修正されているが、当初の10億円のままで良いと考える。結果的に計画以上の受け入れがあることは喜ばしいことだが、それをあてにするような計画をたてては、痛い目を見るのではないかと思う。</p> <p>次に2点目であるが、行財政改革プランでは、人件費を抑制することを是としているように見受けられるが、その結果市民サービスが低下してはいけない。人を減らしすぎて現場で人が回らなくなって無理が生じており、例えば道路の修繕などにしても、市の技術者不足で計画の進捗が遅れてしまっていないか。行財政改革プランの策定においては、今以上に人員削減を掲げるよりも、人員をしっかりと確保して、無理のない行政運営、現場の人員確保を考えてもらいたい。今年度のことであるが、私は国保医療課の職員と一緒に、特定健診の呼びかけのための個別訪問をしたが、やってみると意外と効果があった。そのような活動をするにも人員が必要である。現場に人員を配置して、市民の要望をくみ上げることは重要である。</p>
事務局	<p>ふるさと納税について、若干の見直しを加えている。参考までに今年度の実績では、10月以降の制度変更を前に、昨年同時期と比較し2.5倍となる約30億を受け入れており、特</p>

委員	<p>需ともいえるが、好調を維持しているところである。一方で国の制度見直しということで、将来的な一般財源化なども想定されるが、現状では不透明であり、今回の素案ではそれらを加味しない内容としている。次回見直しの際には、委員よりご指摘のあった点も踏まえた精査、見直しを行い、確実な行財政改革プランとしたいと考えている。</p> <p>また、もう1点人件費についてであるが、資料に示しているように、最小限の職員数で行政運営を行っている状況である。しかしながら、定年延長といった制度改正もあり、60歳で役職定年を迎えた後も再任用職員として働く職員も活用しつつ、また、国のアドバイザー事業により専門人材を招聘して有効活用したいと考えている。</p>
事務局	<p>定年延長したからといって、市政サービスの継続という意味でいうと、新しい職員が入ってこなければ、知識や技能の継承がされないのではないかと。</p>
会長	<p>退職人員の補充を行い、最低限の行政運営の継続性を担保しつつ、一定期間で技術継承も行うことを目指している。</p>
副会長	<p>非常に活発に審議を行っていただき感謝する。それでは本日の議事はここまでとなるので、事務局へ進行をお戻しする。</p> <p>5 その他 (閉会)</p> <p>今回の会議で今年度の審議会は終了となり、また我々の2年の任期も一旦終了となる。私も様々な審議会等に参加しているが、一番準備が必要な審議会であると思っている。皆さんも多くの時間を割いていただき感謝申し上げます。こうして、市の幹部から政策について説明を聞くことができる機会はなかなかないので、ポジティブにとらえ、いい時間だったと思っただけだとありがたい。</p> <p>また、加西市は総合計画にある「協創のまち」を目指しているので、審議の中であったように、市に任せるだけでなく、我々も一市民として何ができるかと考えることも、加西市の発展につながっていくと考えている。加西市が一体となって頑張っていけないと、商工業もなかなか生き残っていけないし、一人ひとりが加西市を盛り上げていければと考えているので、今後とも宜しくお願ひしたい。</p>
政策部長	<p>委員の皆様、ご多用のところ審議会にご参加いただいたこと、また準備の時間を含めるとかなりの時間を皆様から頂戴したこと厚く御礼申し上げます。審議会でもいただきました濃密なご議論、ご意見につきましては、一つ一つ咀嚼しながら施策に反映させていただきたい。</p> <p>皆様の任期はいったん終了となるが、引き続き加西市政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>